

R3 & R2 マニュアル

cervélo

velo

目次

はじめに..... 1

フレームの特徴..... 2

フォークの準備..... 3

小さな部品..... 5

フレームの準備..... 6

機械ケーブル配線..... 7

電気ケーブル配線..... 9

シートポストの組み立てと取り付け..... 11

フレーム保護の取り付け..... 13

タイヤクリアランス..... 14

導入

Cervélo ファミリーへようこそ。R シリーズの自転車をお選びいただいたことを心よりお祝い申し上げます。

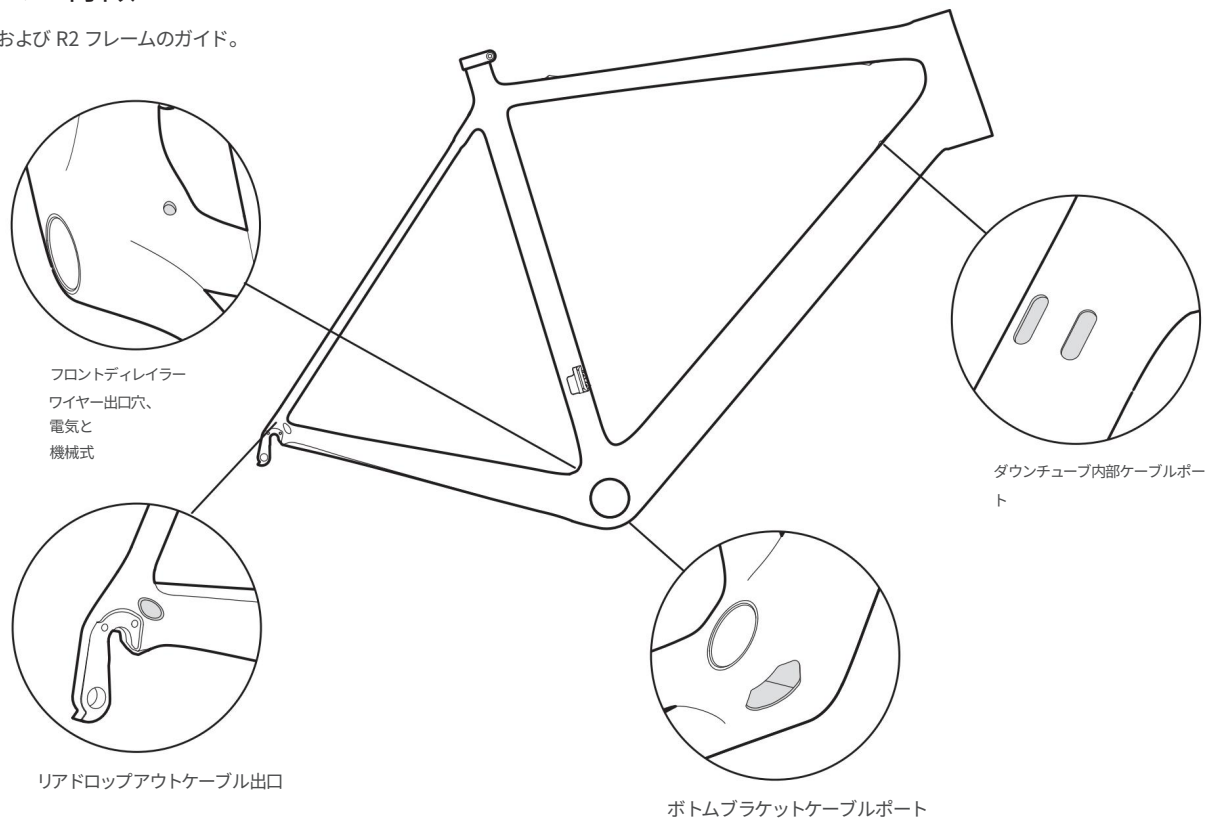
Cervélo Rシリーズのクラシックロードバイクは、超軽量エンジニアリングを採用。どんな登り坂も攻め、下りではスピードとコントロールを存分に楽しめます。控えめなデザインが、路面状況に的確に反応する安定した乗り心地と、パフォーマンスを最大限に引き出します。

高性能車を所有する上で、その機能と整備要件をよく理解しておくことが重要です。組み立てや使用前に、このマニュアルを必ずお読みください。

このドキュメントは、R シリーズの独自機能の組み立て手順を説明するために作成されていますが、コンポーネント製造元が提供する組み立て手順の補足としてのみ使用されることを目的としています。

フレームの特徴

Cervélo R3 および R2 フレームのガイド。



フォークの準備

A. ステムキャップ + 5mm ボルト

B. ヘッドセットスパーサー

C. ベアリングキャップ

D. 圧縮リング

E. ベアリング

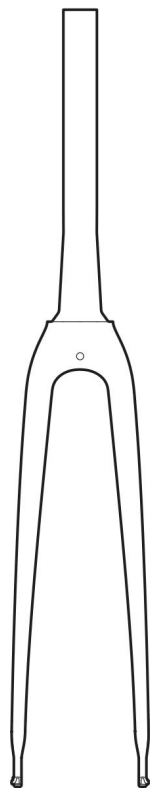
F. フォークインサート

G. 2液型エポキシ

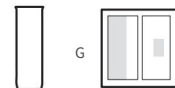
H. ミキシングスティック

I. イソプロピルアルコールワイブ

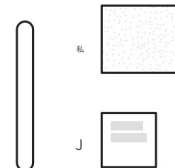
J. サンドペーパー (120番)



F



H



J

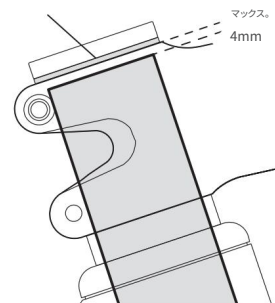
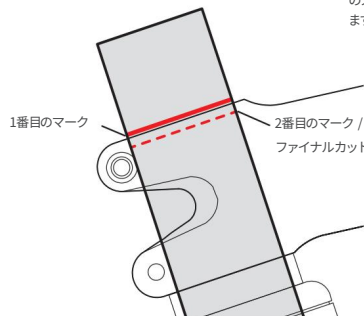


1. ベアリングシートにグリスを塗布し、上部と下部を取り付けます。
ヘッドセットベアリングをヘッドチューブに組み込みます。
2. フレームに付属のフォークを、ヘッドセット一式、必要なスパーサー、ステムとともにヘッドチューブに取り付けます。
3. アセンブリが完全に固定されていることを確認するために必要な最小限の圧力を加えます。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。
4. フォークを取り外し、フォークステアラーチューブに明確に印を付けます。
最初の印から4mm下の点。この測定値がステアチューブのカットラインとなるため、必ず正しいことを確認してください。

▲ Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。

▲ 炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

ステムキャップの下に2.5mmのスパーサーを入れることをお勧めします。



5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適した鋸のみを使用してください。
そしてカッティングガイド。

6. ステアラーの切断端の内側に慎重に斜面をやすりで削ります。
インサートにフィットするチューブ。

7. インサートを仮組みして、ステアラー チューブの切断端と面一になっていることを確認
します。

8. イソプロピルアルコールを使用して、ステアラーチューブの内側とインサートの外側を清
掃します。

9. 2 成分エポキシを完全に混ぜ、木製のミキシング スティックを使用してインサートの外側の表
面に塗布します。

10. インサートをゆっくり回転させながらステアラーに差し込み、広がった端がステアラーの上部
と面一になるまで押し込みます。

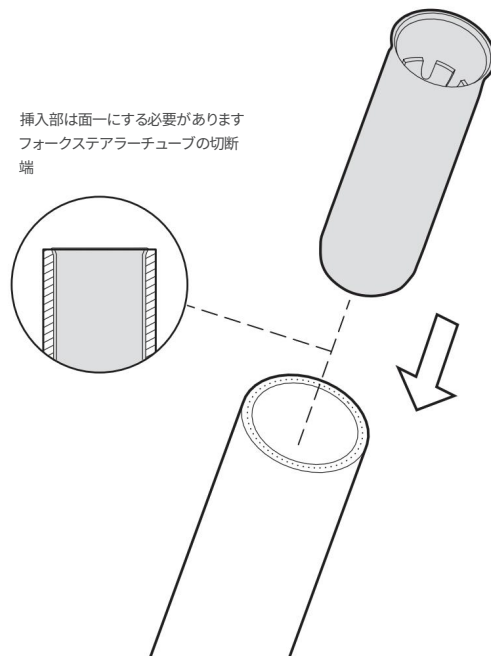
11. イソプロピルアルコールワイプを使用して、ステアラーチューブの外側の表面から余分
な接着剤を拭き取ります。

12. フォークを脇に置き、そのまま置いておく。
硬化期間。

▲ 完全な硬化期間が完了する前に、フォークを自転車に取り付けようとししないでください。

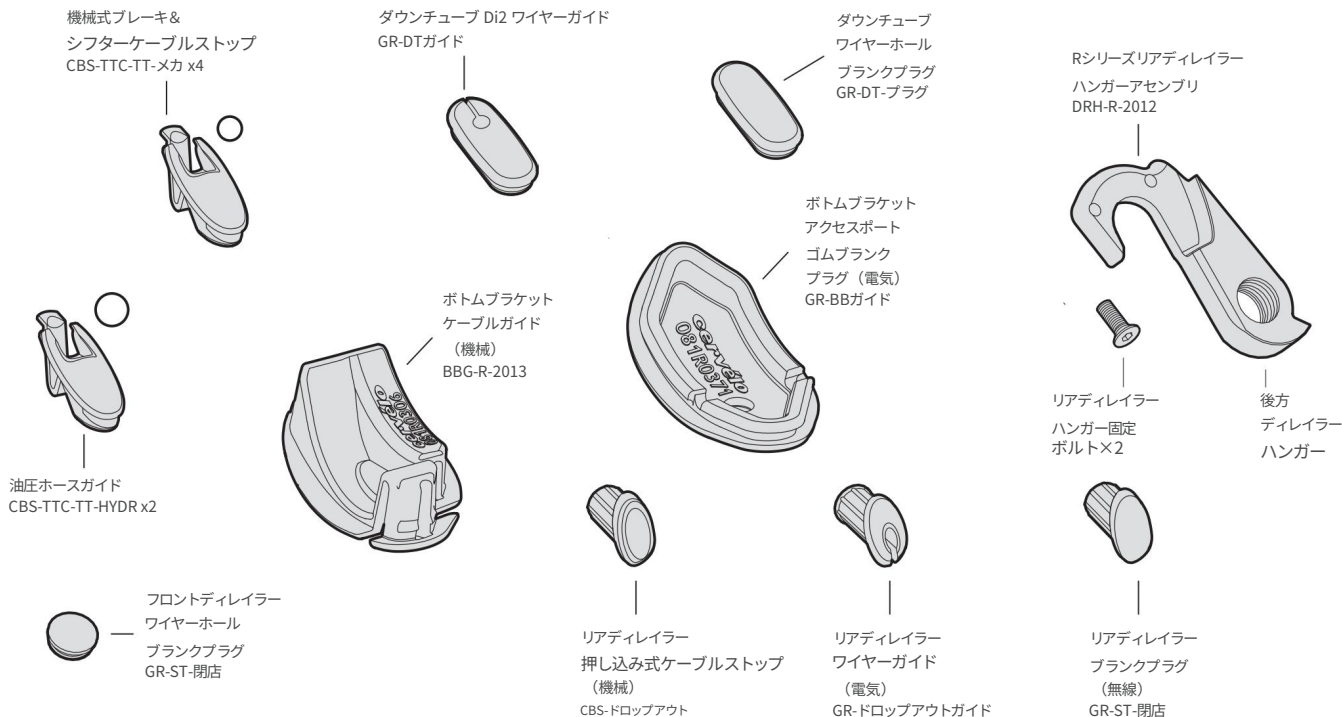
▲ ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる故障が発生
する可能性があります。

▲ ベアリング キャップを含めたスペーサーの合計最大高さは 50 mm を超えな
いようにしてください。



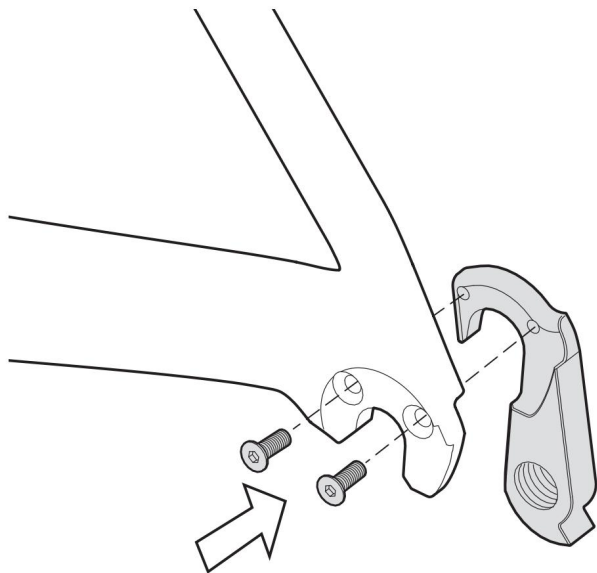
小さな部品

R3とR2のフレームは、電子制御、機械式、油圧式の制御システムに対応するよう設計されており、方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下のパーツが必要です*。

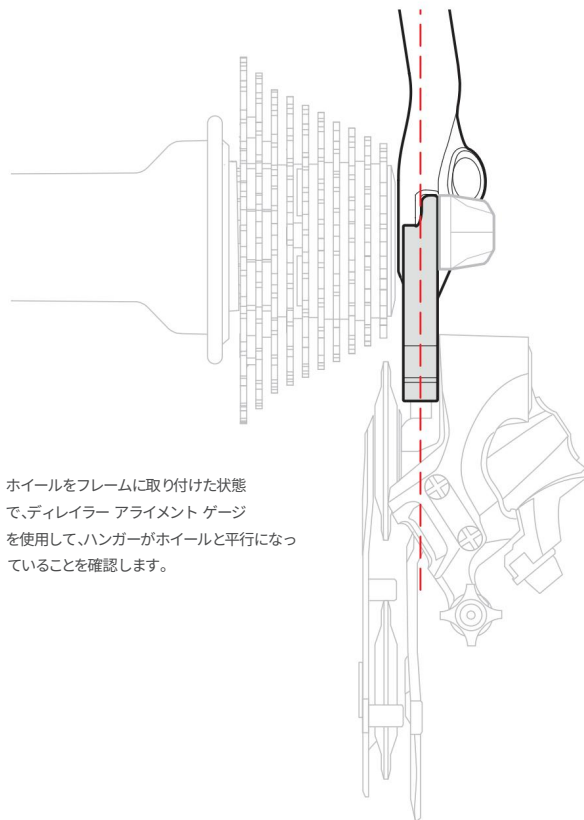


*完全なパーツキットはフレームセットにのみ提供されます。

フレームの準備



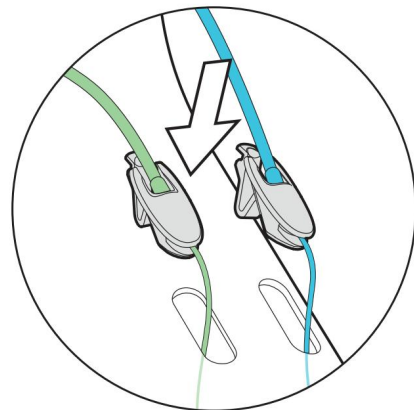
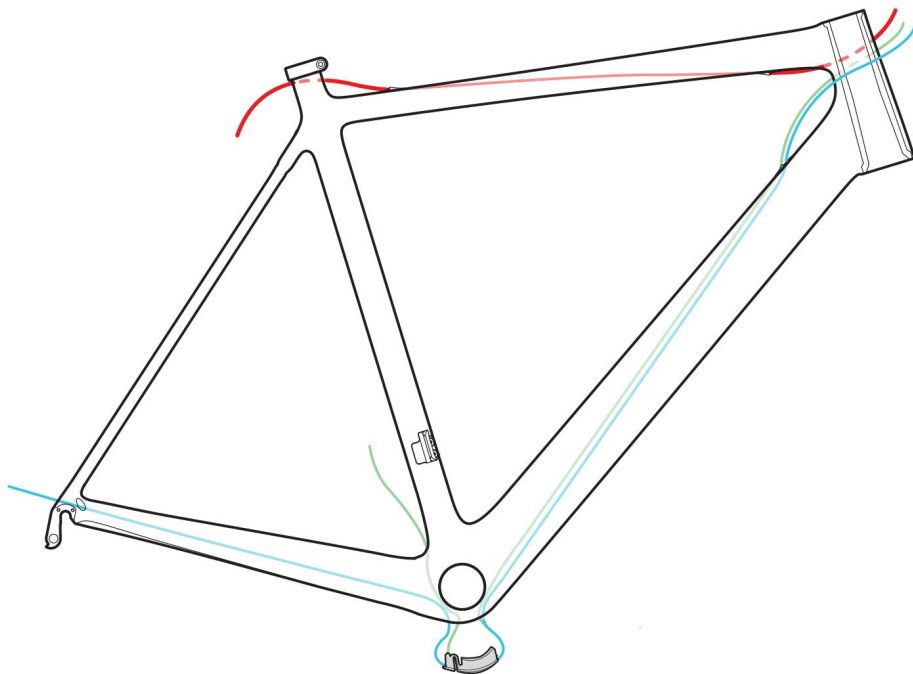
固定ネジにLoctite 242を塗布し、最大1Nmまで均等にネジを締めます。



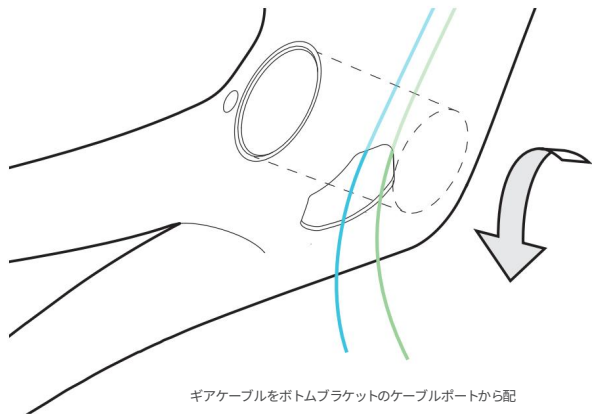
ホイールをフレームに取り付けた状態で、ディレイラー アライメント ゲージを使用して、ハンガーがホイールと平行になっていることを確認します。

機械ケーブル配線

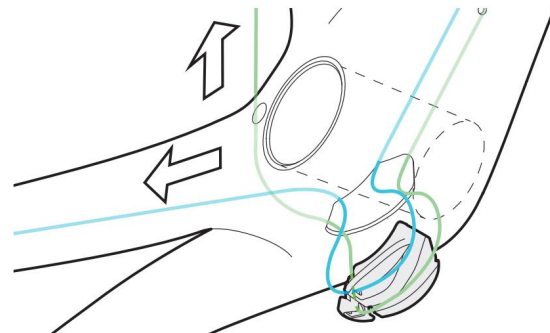
ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



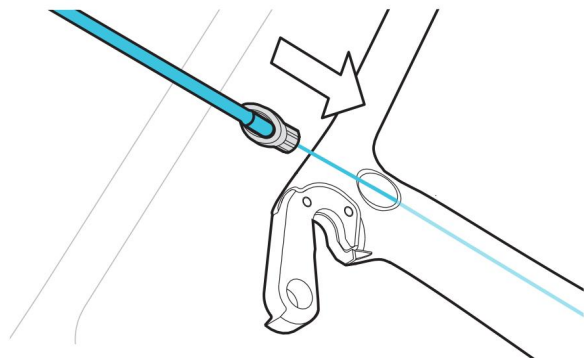
ケーブルハウジング（フェールル付き）を、メカニカルブレーキ&シフターケーブルストップにそれぞれ取り付け、ハウジングがポケットにしっかりと収まるまで押し込みます。ケーブルが絡まないように注意しながら、ボトムブラケットまで配線します。



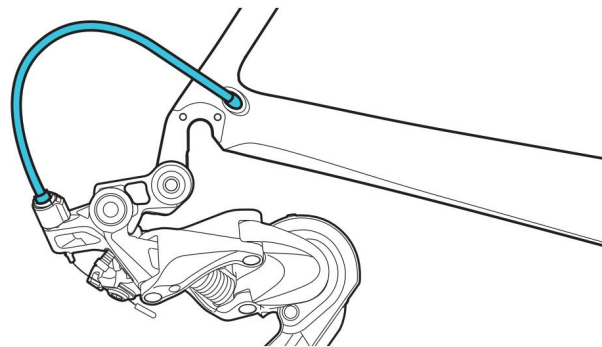
ギアケーブルをボトムブラケットのケーブルポートから配線します。ケーブルが絡まっていないことを確認してください。



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向へ進みます。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステーに沿って進みます。完了したら、ボトムブラケットケーブルガイドをカチッとはめ込みます。



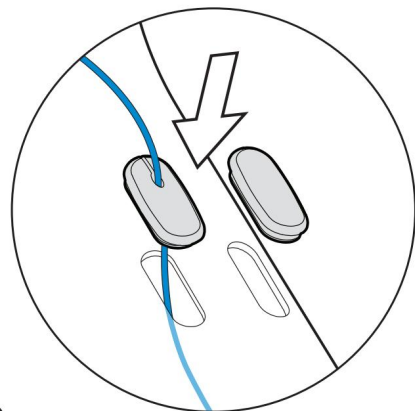
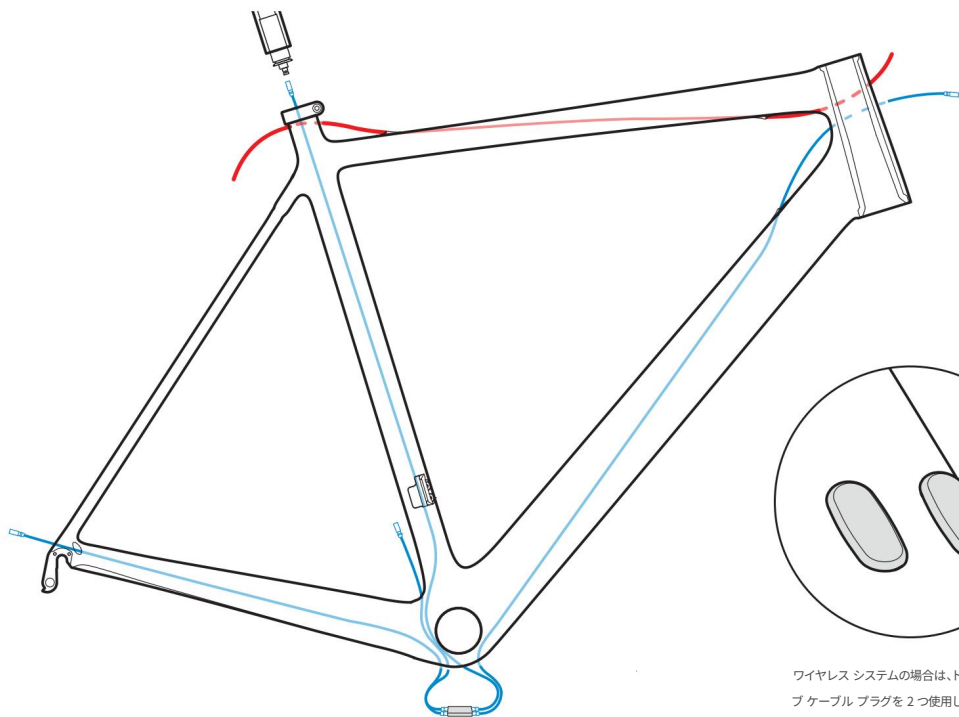
リアディレイラープレスインケーブルストップを取り付けます。



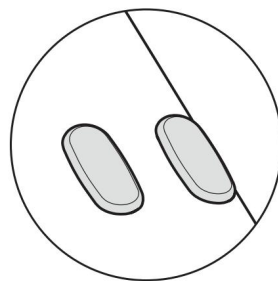
製造元の指示に従って、リアディレイラーをリアディレイラーハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

電気ケーブル配線

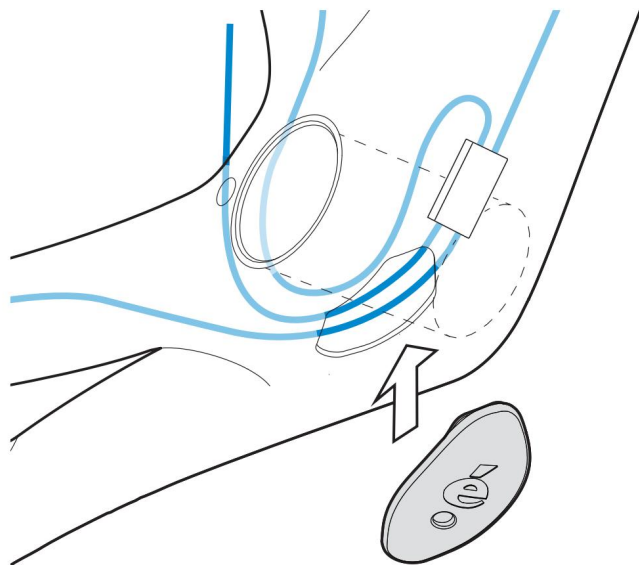
ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



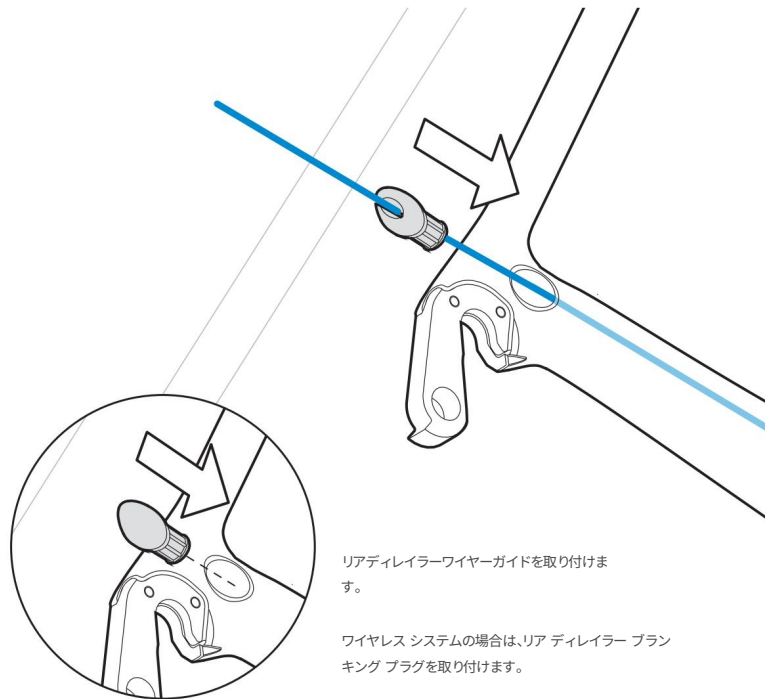
Di2ワイヤーをダウンチューブのDi2ワイヤーガイドを通してボトムブラケットまで配線します。残りのケーブルポートはトップチューブのケーブルプラグで密閉します。



ワイヤレス システムの場合は、トップ チューブ ケーブル プラグを 2 つ使用します。



すべてのワイヤーを内部に入れたまま、ボトム ブラケット アクセス ポートをボトム ブラケット アクセス ポート ラバー ブランク プラグで覆います。



リアディレイラーワイヤーガイドを取り付けます。

ワイヤレス システムの場合は、リア ディレイラー ブランキン グ プラグを取り付けます。

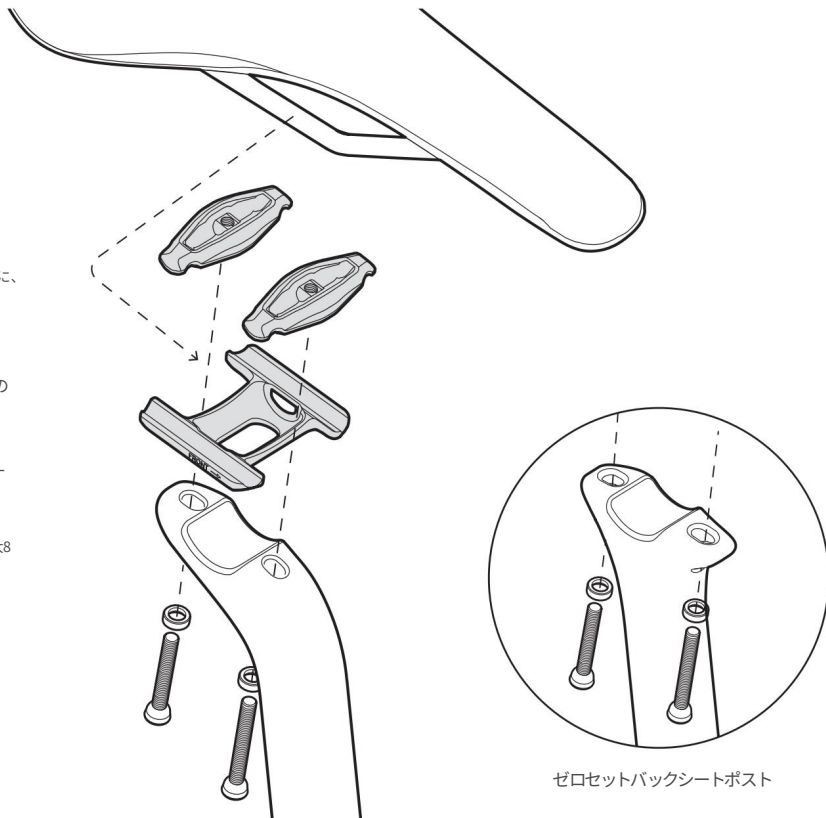
シートポストの組み立てと取り付け

1. カーボンを薄く塗る

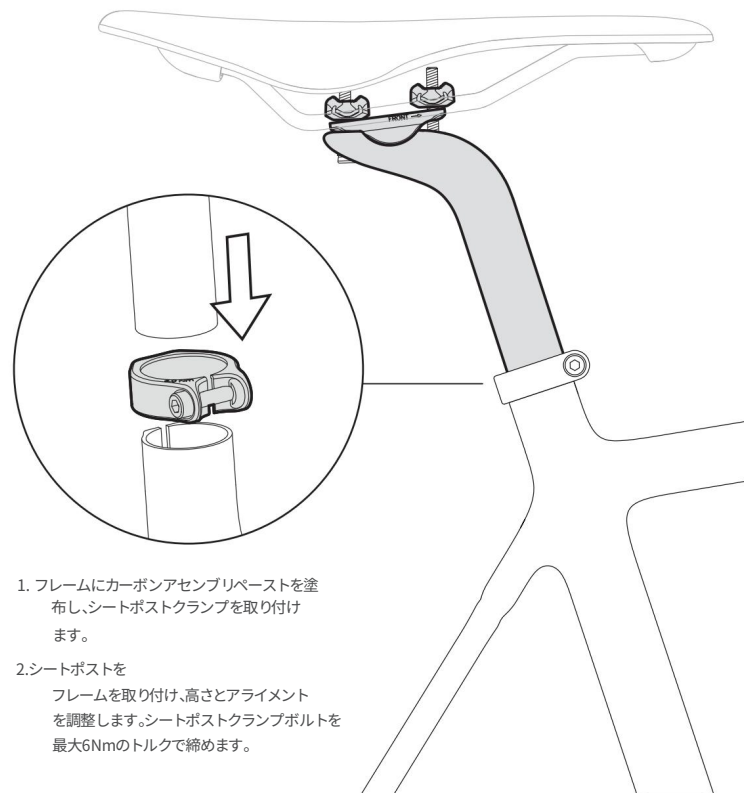
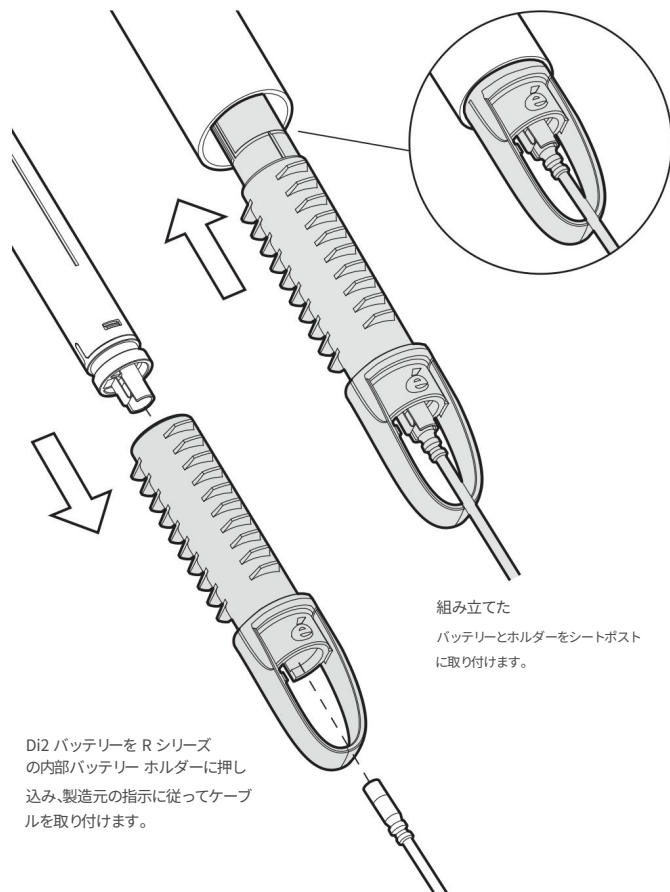
調整スロットの周囲の領域を確実にカバーするように、シートポストの上面に組み立てコンパウンドを塗ります。

2. サドルレールを上部クランプと下部クランプの間に配置して、シートポストに取り付けます。

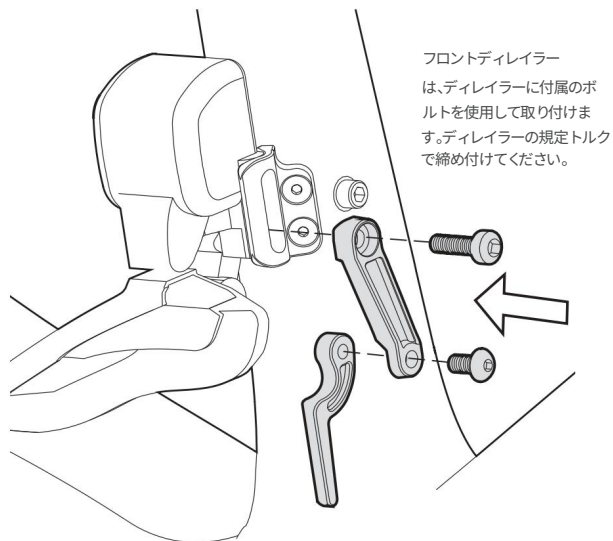
3. アライメントワッシャーを取り付けた状態で、軽くグリースを塗布した固定ボルトを、両側交互に1/2回転ずつ締め付け、アセンブリをシートポストに取り付けます。サドルの調整が完了したら、固定ボルトを最大8 Nmで締め付けます。



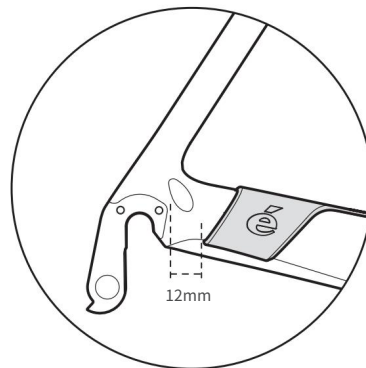
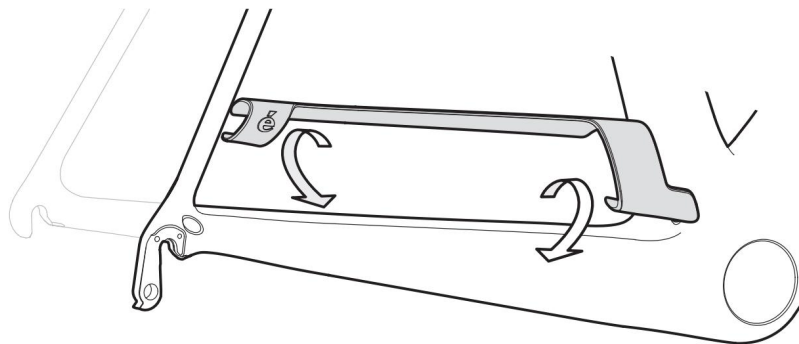
ゼロセットバックシートポスト



フレーム保護の取り付け



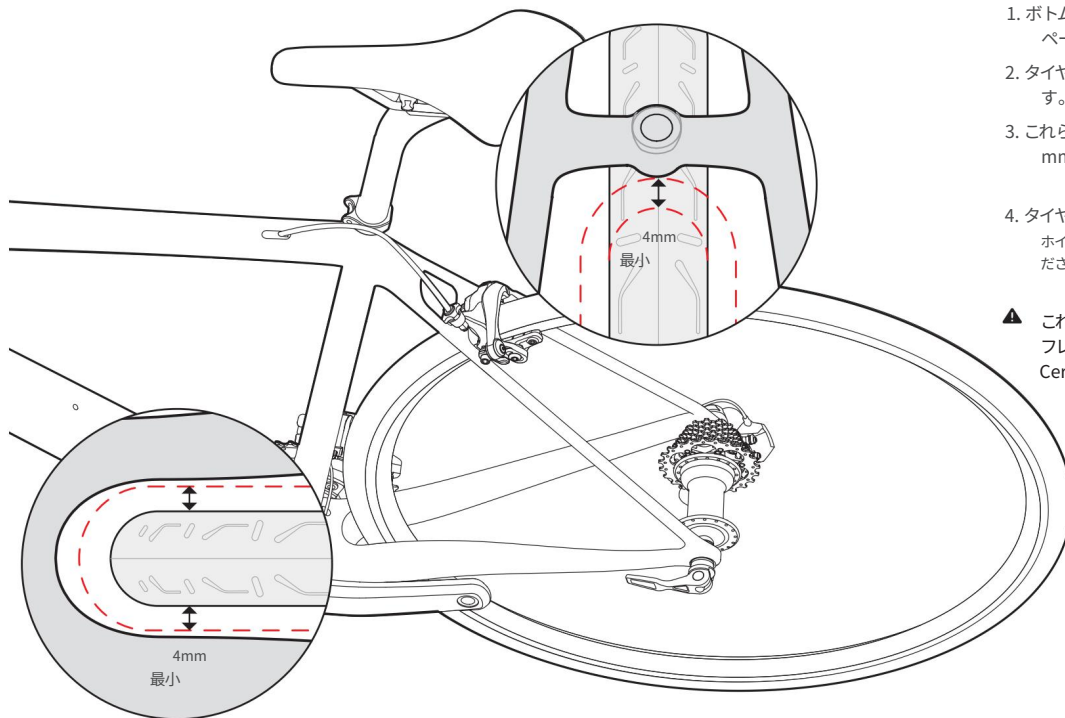
フロントディレイラーを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリング、最大カセットスプロケットにセットした状態で最終調整を行います。接続ボルトを4Nmで締め付けます。



イソプロピルアルコールを使用してチェーンステアーガードを取り付けるには、粘着テープをはがし、フレームに固定します。ガードの下端は、リアディレイラーハンガーの前端から12mm離れている必要があります。

タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方から 8 mm (片側 4 mm) を減算して、残りのスペースを決定します。
4. タイヤを取り付けて完全に空気を入れた状態でホイールに合うかどうかを確認するために、タイヤの幅を測定してください。

⚠ これらのガイドラインに従わない場合は、フレームの損傷は補償対象外
Cervélo 限定生涯保証。

R3 & R2 マニュアル

www.cervelo.com
CER-R23-V2

cerv